

稻城から改革を

稻城市議会議員 いわさ 行浩

介護のスペシャリスト

稻城市議会議員 えのもと ひさはる

岩佐ゆきひろ 榎本久春

ご挨拶

新たな年を迎え、決意も新たに身を引き締めて頑張って参ります。岩佐ゆきひろ、榎本久春です。
旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。若輩者ではございますが、気を緩めることなく、日々研鑽に励み、これからも市民の皆様方の声を議会に届け、皆様にとっての住みよい安心・安全な街の実現に向か、全力を尽くしてまいります。

今回の活動報告のレポートにつきましても、12月議会の一般質問や市での出来事を載せております。様々なご意見を頂ければさいわいです。これからも変わらぬご指導の程よろしくお願い致します。まだまだ寒い日々が続きますが、体に気をつけてお過しください。ご家族のご健康とご多幸をお祈りいたします。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

東京都、新たな体制で稻城も変わる？！

■保育園の新設の可能性も

新たな東京都知事になり、東京都の体制も大きく変わってきております。

都が9月に「待機児解消に向けた緊急対策」という施策を打ち出しました。これは保育所等の整備促進、人材の確保・定着の支援、利用者支援の充実の為の予算であり、今回この緊急対策予算を活用して、大丸都営団地跡地の都の土地に保育園を新設する協議が市と都の間で現在、進められています。市としても今まで何年もこの大丸都営団地の跡地は何年も使い道が決まりず、また市内の潜在的待機児童（旧基準で200名以上）の解消も問題でしたが、今回新たな東京都の施策で大きく進みました。



大丸都営団地跡地



都議会で発言する小池知事

上記で記載したとおり、何年も進まなかった都の未利用地の活用が、新都知事が就任してから、わずか数ヶ月ですぐであります。都も大きくかわりつつあります。

今後も都の政策、施策を注視し、稻城で活用できるものはしっかりと取り入れていき、東京都とより一層の連携をくんでまいります。

平尾、坂浜、若葉台地区の安心・安全が更に向上！

■稻城消防署上平尾消防出張所が4月に開所

上平尾地区画整理事業地内に庁舎と訓練棟を併せ持つ消防出張所が4月1日から運用を開始します。消防ポンプ車両1台と救急車両1台が配備され、平尾、坂浜、若葉台地区を第一の出場区域とし、稻城市全域の火災、救急体制を整え、災害に対する活動力を強化します。また、訓練棟も完備され、消防活動に対する技術・知識の更なるレベルアップが期待されます。その他にも自家発電設備、太陽光パネル、耐震性貯水槽（水量60t）、自家用給油施設（ガソリン10,000ℓ、軽油5,000ℓの地下タンク）等があり、非常時にも強い設備が整います。

稻城消防署上平尾消防出張所完成予想図



サービス付き高齢者向け住宅4月より募集! 『コーチャハイム平尾』全65戸

高齢者に安全な居住空間を賃貸住宅として提供する、サービス付き高齢者向け住宅が、東京都の住宅供給公社の跡地を活用し平尾地区にオープンします。サービスについては事業所によって様々ですが、主に状況確認や生活相談が基本となっています。施設には在宅医療・在宅介護が受けられる機関も併設され、その他にも地域交流が図れるように対応されています。介護サービスや医療機関に関しては、自宅で生活していた時と同じように保険制度を利用して受けることが出来ます。

■住みなれた地域で暮らし続けるために稻城市民限定募集が30戸!

平尾地区や稻城市にお住いの高齢者が入居しやすいように限定された形で募集を行います。近隣には、クリニックや商業施設も多く利便性も保たれ、近くには公園もあり環境も整っています。稻城市民限定募集30戸と一般募集35戸の全65戸が募集対象になります。

- 稻城市民限定募集30戸は、一般募集前に平尾地区住民だけを先行して募集を行います。抽選の場合、要介護者は、それ以外の自立されている方に比べ当選する確率が、3倍と当たりやすくなります。また、先行する30戸が残った場合、稻城市民限定として同様に募集をいたします。
- 一般募集35戸は、稻城市民優遇として、市外の自立された方の募集に比べて当選する確率が3倍、要介護者は、さらに優遇して2倍上乗せし、当選する確率が5倍と当たりやすくなります。
- 入居募集の問い合わせ：家賃・居住空間・その他のサービス費等の詳細については、東京建物シニアライフサポートまで、電話フリーダイヤル：0120（66）2112



サービス付き高齢者向け住宅「コーチャハイム平尾」

サービス付き高齢者向け住宅
コーチャハイム平尾

2017年春
新築賃貸住宅
募集開始予定

お問い合わせは
0120-66-2112
営業時間／10:00～17:30 定休日／土・日・祝

(運営会社) 東京建物シニアライフサポート (運営会社) 生む手 やさしい手
(運営会社) 社会医療法人 河北医療財團 (運営会社) JKK東京

市長と語り合う「タウンミーティング」が今年度変更!?

■市民の声を市政に

今まで年に一回、市民の意見や要望を直に市長に求める事が出来る場として、25年以上に渡って「タウンミーティング」が地区ごとに市内各所で行われてきました。直接市長と会って話を聞いてもらえるということで、市民の皆様にとって開かれた市政の一つとして大変望ましいことであったと思います。

ところが今年度から、すでに行われているタウンミーティングは、市内3か所のみとなっており、しかも各テーマが決められており市民の様々な声を聞く機会は大幅に減ってしまいました。

なぜこのような形になってしまったのかは、まったく議会にも説明がないままです。私たちは開かれた市政、真摯に市民の声を聞く市政を目指して、今までと同じような形の「タウンミーティング」の復活を求めてまいります。

